



福岡県立戸畑高等学校

## 教科横断的な学びとICTの活用で「深い学び」を実現する

福岡県立戸畑高等学校は、校訓「自主・調和」のもと、「たくましく心豊かな創造者を育成する」を教育目標として掲げ、「質実剛健・文武両道」を堅持しながら教育活動を行っています。80有余年の伝統と歴史を大切にしながら、国際的な視野をもち、地域社会に貢献できる「グローバルな人財（地球規模で考え、地域で行動できる人）」の育成を目指しています。

### 1 平成30年度 教育重点目標

- ・ICTを活用し、主体的・対話的で深い学びと英語イマージョン教育の推進
- ・戸高三大行事（体育大会・戸高祭・予餞会）を中心に、生徒自らが企画・運営を行う体験的な行事の実施
- ・国際的視野を育てる機会の提供と地域密着型の学校教育の推進

### 2 英語イマージョン教育 ～教科横断的な授業の取組～

本年度、県の「グローバル人材育成強化校」に指定され、英語イマージョン教育の推進に取り組んでいます。英語以外の授業についてティーム・ティーチングを行い、生徒は母語で獲得した教科科目の知識・技能を活用して、新しい内容について英語で理解・表現をします。授業は教科担当者とEAS（英語活動指導員）が行います。

#### 【授業実践例】

- ・国語総合 第1学年 単元名「評論『水の東西』（山崎 正和）」  
各生徒が「美しい」と思うものと、その理由を英語で発表する。その後、東洋と西洋における「美の感じ方の違い」を芸術作品の写真の比較から考察する。
- ・学校設定科目 数学基礎 第3学年 単元名「データの分析」  
設定したテーマについてデータを収集し、グラフ作成と分析を行う。分析した内容を英語で発表し、質疑応答を行う。
- ・社会と情報 第1学年 単元名「望ましい情報社会の構築」  
「Society5.0（超スマート社会）」についての説明を聞き、今後の社会変化や課題について班で討議した内容を英語で発表する。



数学基礎



社会と情報

各授業では生徒が知的好奇心をもって熱心に調査や話し合いを行い、一生懸命に英語で発表を行いました。通常の英語の授業でも積極的に英語で表現する姿が見られるようになってきました。

この取組により、教員が教科を越えて授業デザインや教材について話し合う機会も増えました。

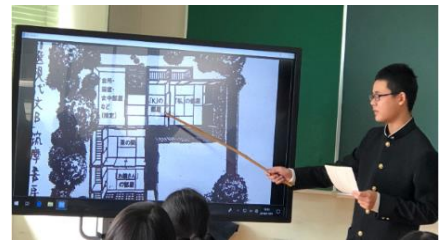
### 3 ICTを活用したアクティブ・ラーニング

全教室にプロジェクターが設置されており、タブレットやパソコンも100台以上準備されているため、ICTの活用が日常的に行われ、表現力の向上や協働的な学びの充実につながっています。

**【授業実践例】**

・古典B 第2学年

『源氏物語』（紫式部）と『こころ』（夏目漱石）の舞台設定の工夫とその効果について班で話し合う。代表生徒が資料や図を書画カメラで投影しながら考えを発表する。（右写真では、『こころ』の舞台である下宿の想定図を投影している。）



古典B

・コミュニケーション英語Ⅲ 第3学年

フェアトレードについての長文を読んだ後、内容についての自分の意見を英語で書く。その際、SDGs（持続可能な開発目標）に関する動画資料を班単位でタブレットで視聴し、意見の根拠となる材料を探す。



コミュニケーション英語Ⅲ

授業の目的に応じて効果的にICTが活用されるよう、全教員が研究授業等を通して研修を重ねています。

**4 総合的な学習の時間の「探究的な学び」**

独自のキャリア教育プログラム（Ace Program）を本年度から充実・発展させ、探究的な学びへとつながる取組を進めています。

**【Ace Program】**

- ① 発達段階に応じたキャリア教育の推進、充実 = 3年間を見通した体系的な指導
- ② グローバル社会に対応できる人材の育成 = プレゼン力、情報発信能力の育成
- ③ 先導的役割を果たせる人材の育成 = 相互学習、グループ学習による学び合い

本年度の前半に1年生は自分たちの町について社会人講話等を通して学び、話し合い、発表する活動をしました。後半はSDGs（持続可能な開発目標）に基づくテーマに沿って、広い視野で課題解決型の学習に取り組んでいます。

また、「ポートフォリオ」が本年度新たに導入されました。生徒は総合的な学習の時間や各行事の前に各自の目標を設定し、事後には「リフレクションシート」を使って自己評価を行い「わかったこと」「わからなかったこと、もっと知りたいこと」を記述します。自分の学びを言語化しながら振り返ることで、体験の意義が明確になり、挑戦や成長への意欲が向上しています。

福岡県立戸畑高等学校  
REFLECTION SHEET 振り返りの力になる 年 組 番 氏名 ( ) 日時 平成30年 月 日

タイトル \_\_\_\_\_

講演会 [ ]  
 講師 [ ]

○ Goal  
. . . . .

○ ASSESS Rubric [目標と評価] ~自分で自分が学んだ内容を振り返る~  
今日学んだことを、どのレベルで振り返ることが出来ますか。S~Cに○を付けてみよう。

S	A	B	C
本日の内容を口頭で周囲の人に説明できる	本日の内容を文章でまとめることができる。	本日の内容の要点をあげることができる。	本日の内容を理解し、メモをとることができる。

リフレクションシート

**5 アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善の成果**

授業中に生徒が思考したり表現したりする活動が充実し、臆せずに自分の考えを述べる生徒の姿が見られるようになりました。また、英語イメージ教育等によって視野が広がり、「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」という意欲をもって学びに向かう生徒も増えています。

**6 今後の方向性**

「深い学び」のさらなる実現に向けて、学習評価の工夫改善や教員の指導力向上を目指した研修の工夫、学習成果の発表機会の充実等に取り組んでいます。